

株主の皆様へ

第 1 6 6 期 株 主 通 信

平成 2 4 年 4 月 1 日

▼
平成 2 5 年 3 月 3 1 日



スキンケアクリーム

nippi. incorporated

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第166期連結事業に関してご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、震災復興需要による景気の持ち直しが見られ、また、昨年末からの景気対策・金融政策への期待感が浸透するなか、欧州債務問題の長期化、中国経済の減速化などで景気の不透明感が見られ、依然として厳しい状況で推移しております。

当社グループを取り巻く環境は、コラーゲン、ゼラチン関連製品の原料や製造費の値上がり、市場における競争の激化等で厳しい状況で推移しました。この結果、売上高・経常利益・当期純利益は減収・減益となりました。なお、期末配当金につきましては、株主の皆様のご期待に応えるため、前年実績7円に3円増配し、年10円といたしました。

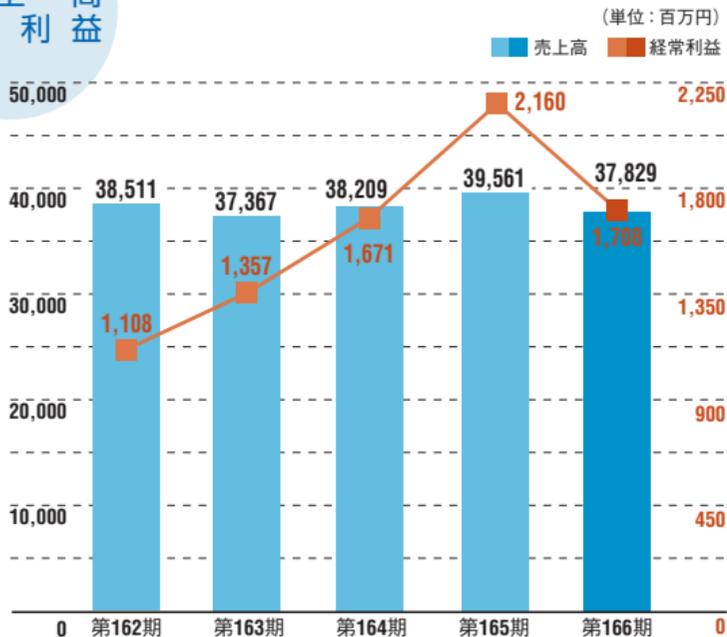
さて、これまでの当社の事業の移り変わりを顧みますと、皮革事業は約100年間、ゼラチン事業は約60年間、コラーゲン・ケーシング事業は約40年間、それぞれの国内分野においてリーダー的な役割を果たしてまいりました。また、化粧品事業はまだ25年ながら、独自の技術により基礎化粧品分野で一定の地位を築いてまいりました。今後、当社がさらに大きな成長を続けるためには「今」こそ、これからのニッピの礎となる事業を作り上げることが経営課題であると認識しております。目標達成に向けて全社一丸となって邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



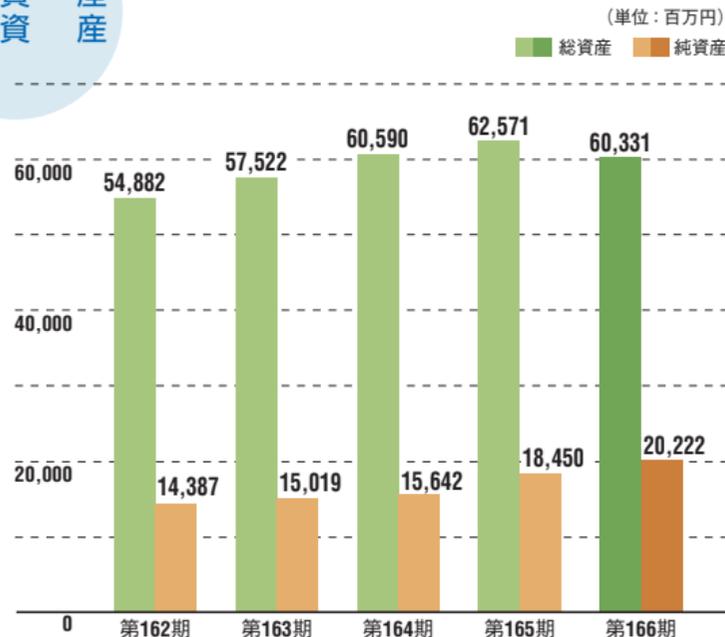
代表取締役社長
伊藤隆男

平成25年6月

売上高
経常利益



総資産
純資産



【トピックス】

- ① コラーゲン・ケーシング事業は、国内販売が好調に推移し、売上高・営業利益ともに前期比で大きく伸長しました。
- ② 経常利益は、宣伝広告費の増加および原材料の高騰などにより前期比減益となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第166期 (平成25年3月31日現在)	第165期 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	19,468	19,123
固定資産	40,828	43,405
有形固定資産	35,843	39,377
無形固定資産	207	168
投資その他の資産	4,777	3,858
繰延資産	34	42
資産合計	60,331	62,571
負債の部		
流動負債	19,933	21,359
固定負債	20,175	22,762
負債合計	40,109	44,121
純資産の部		
株主資本	11,219	9,862
その他包括利益累計額	8,550	8,175
少数株主持分	452	412
純資産合計	20,222	18,450
負債及び純資産合計	60,331	62,571

(単位：百万円)

連結損益計算書 (要旨)

科 目	第166期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	第165期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	37,829	39,561
売上原価	28,136	29,973
販売費及び一般管理費	7,790	7,174
営業利益	1,902	2,413
営業外収益	435	501
営業外費用	630	754
経常利益	1,708	2,160
特別利益	1,838	531
特別損失	1,343	144
税金等調整前当期純利益	2,203	2,547
少数株主損益調整前当期純利益	1,315	2,215
当期純利益	1,292	2,180

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

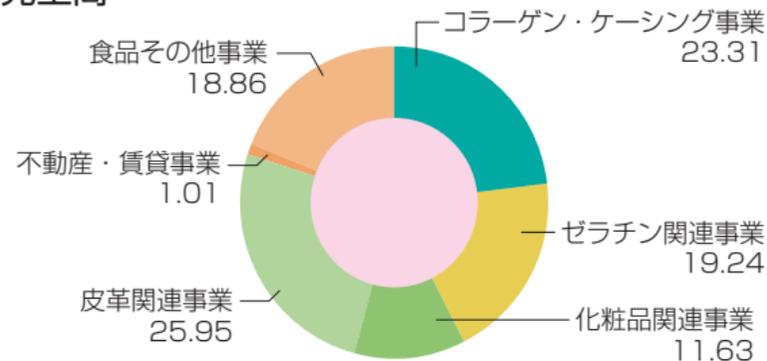
科 目	第166期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	第165期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,531	2,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,259	△4,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,717	1,941
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△1
現金及び現金同等物の増・減(△)額	91	△191
現金及び現金同等物の期首残高	4,010	3,841
現金及び現金同等物の期末残高	4,102	4,010

セグメント別推移 (売上高・営業利益) (単位：百万円)

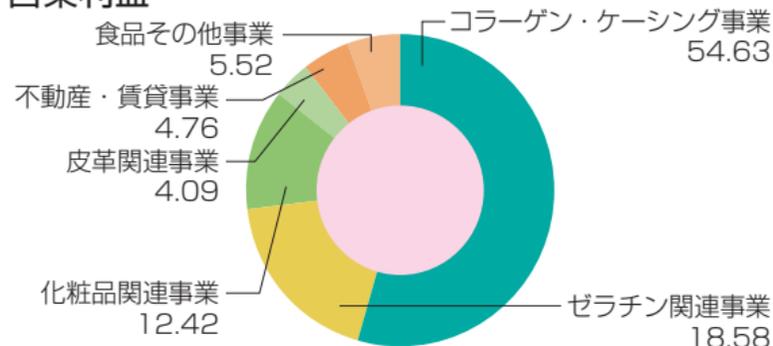
		166期	165期	164期
コラーゲン・ケーシング事業	売上高	8,819	8,173	8,357
	営業利益	1,910	1,461	1,534
ゼラチン関連事業	売上高	7,279	8,561	8,279
	営業利益	649	899	791
化粧品関連事業	売上高	4,399	4,812	4,393
	営業利益	434	1,091	864
皮革関連事業	売上高	9,816	10,697	10,026
	営業利益	143	158	156
不動産・賃貸事業	売上高	380	430	485
	営業利益	166	191	275
食品その他事業	売上高	7,134	6,886	6,666
	営業利益	193	210	100

セグメント別占有率 (%)

売上高



営業利益





当社への理解深耕の一助にさせていただくことを目的に、当社グループ商品の中から、永くご愛用いただいている定番商品や、話題性のある商品をご紹介します。

◀コラーゲン・ケーシング

牛由来のコラーゲンタンパク質を利用して、衛生的にコラーゲン・ケーシングを製造し、ソーセージケーシングとしてお客様の食卓へお届けしております。コラーゲン・ケーシングは使用目的により長さや太さに対応できるため、コンビニエンスストアのフランクフルトやお弁当用のソーセージなど様々なシーンでご愛用いただいております。

当社では、標準品を中心に耐熱性に優れたもの、厚さを薄くし食感をよくしたもの、天然の色素を利用し着色したもの、非加熱商品用、ドライ・サラミソーセージ用、印刷ケーシング用など、お客様のニーズにお応えした商品を提供しております。



◀スキンケアクリーム

スキンケアクリームは、25年を超えるロングセラー商品として多くのお客様に親しまれ、毎日の美容と健康にお役立ていただいております。無添加ですので、空気に触れないエアレスポンプを採用するとともに、要冷蔵でのご使用をお願いしております。

肌に存在するI型コラーゲンと同じ三重らせん構造を維持した“生コラーゲン”を主成分とする基礎化粧品です。洗顔後のまっさらな肌にご使用いただくことで、生コラーゲンが肌表面にうるおいの膜をつくり、ナノコラーゲンが角層の内側に浸透し、肌をくすませていた古い角質も自然に剥がれ落ち、内側から輝くような透明感がよみがえります。

(当商品につきましては当社HPおよび当社グループの(株)ニッピコラーゲン化粧品HP (<http://www.nip-col.jp/>) で詳しく紹介しております。併せてご参照ください。)



◀レンジアップ食品用ゼラチン

近年、コンビニエンスストアやスーパーなどで「電子レンジで加熱調理するお弁当やお惣菜食品」が多く販売されていますが、これらの商品は総称して「レンジアップ商品」と呼ばれています。主にスープやソースをゼラチンで固め、電子レンジで加熱することにより、元の液状スープやソースに戻すという商品です。

なぜ固めるのかといいますと、流通時にスープなどが容器から漏れる、容器に付着して見た目が悪くなるといった、商品価値の低下を防ぐために使用されています。また、なぜゼラチンなのかといいますと、寒天やカラギーナンなどはゼラチンに比べて溶解性が悪く、また融点も高いため、電子レンジで温めても常温でゲル化してしまっただけで違和感があり、食感も悪くなることから、ゼラチンが選択されています。

当社グループはこのレンジアップ食品用ゼラチンの拡販に注力しております。



◀ iMatrix-511 (アイマトリックス-511)

2012年度、大阪大学と京都大学の共同研究チームによってラミニン511-E8を用いた効率的なiPS細胞の培養方法が発表されました。当社は両大学との間でラミニン511-E8の製造・販売に関する独占契約を締結し、2013年7月より新商品「iMatrix-511」として本格的に販売いたします。

「iMatrix-511」は、タンパク質の一種であるラミニン511-E8を高純度に精製した商品です。ES/iPS細胞を始めとする幹細胞や様々な細胞の培養用基質として使用することで、従来の方法よりも簡便で高効率な培養を実現します。

(当商品につきましては当社HPでも詳しく紹介しております。併せてご参照ください。)

(平成25年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	35億円
従業員数	619名(連結対象会社合計)
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連製品の製造販売および皮革関連製品等の販売
ホームページ	http://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行

(平成25年6月27日現在)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	伊藤隆男
常務取締役	吉原道博
常務取締役	河村桂作
取締役	新谷隆行
取締役	小林祥彦
取締役	伊藤政人
取締役(社外)	村上勝彦
監査役(常勤)	関田安彦
監査役(常勤)	山田芳郎
監査役(社外)	大倉喜彦
監査役(社外)	伊藤敬四郎

(平成25年3月31日現在)

■ 株式の状況

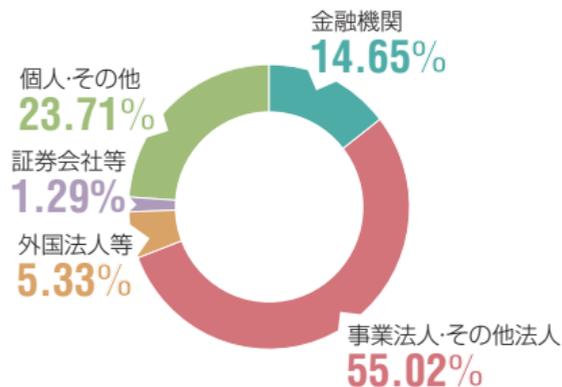
発行可能株式総数 48,000,000株
 発行済株式の総数 11,949,705株
 (自己株式50,295株を除く)
 株主総数 1,045名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	2,787	23.33
大成建設株式会社	1,113	9.31
中央建物株式会社	582	4.87
東京建物株式会社	500	4.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	390	3.26
BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCJ JAPAN	372	3.11
株式会社みずほコーポレート銀行	349	2.92
みずほ信託銀行株式会社	300	2.51
特種東海製紙株式会社	250	2.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	210	1.76

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率



■ 本社外観



HPのご案内



<http://www.nippi-inc.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 （郵便物送付先） （電話照会先）	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社等に口座をお持ちの場合、原則として住所変更や買取請求などの株主様の各種お手続きは、ご利用の証券会社等を経由して行なっていただくこととなりますので、証券会社等宛ご連絡をお願いいたします。
2. 証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、「みずほ証券」本店・全国各支店・営業所およびプラネットブース（みずほ銀行内の店舗）、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店でお取り扱いいたします。
3. 支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、上記「郵便物送付先」宛お問い合わせください。
4. 未払配当金のお支払につきましては、「みずほ信託銀行」本店・全国各支店、「みずほ銀行」本店・全国各支店にお問い合わせください。なお、「みずほ証券」ではお取り次ぎのみとさせていただきます。

お問合せ先



〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1 TEL 03-3888-6651

表紙写真：スキンケアクリーム

